

小平市議会議員
日向みさ子

一般質問

小川町1丁目、上水新町など西南地域にも
公共交通を

小平では市を4地域に分けてコミュニティタクシーを走らせる構想を進めています。残る1地域となった小川1丁目やたかの台、上水新町、中島町、津田町を含む地区も、高齢化に伴い市民の移動手段の確保は緊急課題です。

にじバスを鷹の台駅近くまで延伸することとあわせ、一刻も早く市民参加型でコミタクを走らせるために、隣接市との共同運行なども検討し、新たな公共交通ネットワーク

ワークをつくるべきと主張しました。(質問件名：コミュニティタクシーを市内全域に)



小川西町・栄町ルートを走るコミュニティタクシー

DVやストーカーをなくすために

親密な男女間での暴力(DV)やストーカーは事件になってしまう前に防ぐ必要があります。対策事業の先進的な取り組みを行っている長崎を事例に、中学校や高校での予防教育など対策を提案しました。市ではすでに大学向けに講座を実施しており、教育委員会も今回の質問で必要性は認めたことから、実現に向けて今後も積極的に働きかけていきます。

小平市議会議員
岩本ひろ子

一般質問

子ども子育て支援事業計画は
子ども施策の総合計画に

現在、子ども・子育て支援事業計画の策定がすすんでいます。今回の計画は、待機児の解消など保育に関わる分野が中心になりますが、他にも、障がい児や、社会的擁護の必要な子どもへの支援の充実が必要であり、子どもの遊び場なども含めた総合的な子育て支援計画にすべきと訴えました。

市のすべての施策は環境の視点で
チェックされているか

市が行っている事業の中には、環境施策との整合性が十分ではない事例が見受けられます。今や地球環境を保全するため環境配慮は欠かせません。どの事業も省エネや景観など環境の視点で検証するしくみをつくり、環境部だけでなく企画政策部や財務部と十分な調整、連携を行い組織横断的にとりくむべきと主張しました。



戸田市リサイクルセンターに設置されているマイカップ利用の自動販売機。公共施設に設置の場合は、せめてこうした環境配慮型のものを。

*横には次の内容の張り紙がある

〇ごみを減量 〇資源を節約
マイカップ型自動販売機
缶・ペットボトルを使わない販売機です。ごみの発生を抑えます。自分で用意したコップ「マイカップ」で購入すると20円戻ります。内蔵の紙コップでも購入できます。使用済み紙コップは再利用します。

4月	5月
7日(月)小学校入学式	3日(土)〜6日(火)福島の子どものための保養活動
8日(火)中学校入学式	7日(水)十一市四市組合議会
9日(水)朝駅頭(橋学園駅)、学習会 自治体から問う共通番号制度	8日(木)図書館協議会傍聴
10日(木)朝駅頭(小平駅北口)、議会改革推進特別委員会	10日(土)売春防止法学習会
11日(金)朝駅頭(小川駅)	13日(火)小平商工会との意見交換
12日(土)月例フォーラム(都市農業)	14日(水)16日(金)常任委員会視察
13日(日)脱原発フォーラム	17日(土)みこしプロジェクト、九小青少年対地域交流会
14日(月)朝駅頭(小平駅南口)	18日(日)だれもがともにネットワーク総会
15日(火)議会報編集委員会	19日(月)議会改革推進特別委員会
16日(水)朝駅頭(小平駅)	20日(火)総務委員会
17日(木)朝駅頭(花小金井駅北口)、福島の子どものための保養のための街頭募金	21日(水)生活文教委員会、子ども・子育て審議会傍聴、介護保険運営協議会傍聴
19日(土)世田谷・生活者ネット映画上映&学習会	22日(木)厚生委員会(近隣市視察)、月例フォーラム(食・緑・水)、子宮頸がん学習会
22日(火)あすびあ市民活動交流サロン(障がい児の居場所について)	23日(金)建設委員会傍聴、小平商工会総代会
23日(水)朝駅頭(鷹の台駅)	
24日(木)小平商工会女性部会通常総代会、地域包括ケアシステム研究シンポジウム	
25日(金)金曜サロン(紙芝居活動)	
26日(土)施設整備地域連絡協議会(小村・大)	
27日(日)議会報編集委員会	
28日(月)議会報編集委員会	

ネット議員の活動日誌



トピックス

憲法解釈の変更による集団的自衛権の行使容認に断固反対！

6月議会初日に「憲法解釈による集団的自衛権の行使容認に反対する意見書」を国に提出してほしい趣旨の請願が市民団体から提出され、10日の総務委員会で審査されました。

世論を無視して、まさに与党協議がすすめられ一刻の猶予もない中、生活者ネットとしては即刻議会として結論を出し、意見書を提出すべきと主張しました。

ところが、自民・公明の委員3名が継続審査を主張。ネット、共産党、フォーラム小平3名が採決を主張しましたが、委員長裁決で継続審査に決定。無責任にも次回委員会(8月25日)に結論を先送りにしました。

その後、7月1日に安倍内閣は多くの反対の声を押し切って閣議決定しました。市議会では、民主主義のプロセスを無視し暴走する安倍政権にストップをかけるため超党派で団結し、諦めずに声をあげ続けます。



7月10日には集団的自衛権に反対する4つの党派(生活者ネット、フォーラム小平、虹とひかり、共産)で遊説を行った(小平駅南口にて)

小平市議会議員
平野ひろみ

生活困窮者の支援について

昨年12月の法制定をうけ、2015年4月から自立相談支援事業及び住居確保給付金の支給が必須事業となります。

視察に行った箕面市のモデル事業では生活福祉部、市民部だけに限らず、生涯学習部や子ども部局も入り複合的な課題を抱えた相談を集約できるような体制がつけられています。新たな相談支援体制の構築が早急に必要と強く主張しました。

小平の緑を守りいかしていくために

今年度、市が新たに取り組む緑を創り出す事業「身近なビオトープづくり」では、専門家と市民公募委員でリーフレットを作成します。これを活用して個人や企業、学校にもさらに広めるよう求めました。

また、屋敷林や樹林地などの民有地の緑を守るためには、柏市カシノワ制度を参考に、土地を貸したい所有者と使いたい市民団体や活動したい人の情報を市が仲介する情報バンクをもつなど具体的な手だてを考えるよう要望しました。



上水本町にあるビオトープ公園

- 24日(土)市民活動ネットワーク総会、フェミニスト議員連盟総会・講演会
- 25日(日)議会改革学習会
- 26日(月)幹事長会議
- 27日(火)議会改革広報公聴作業部会
- 28日(水)議員とじっくり話す会(テーマ:防災)
- 29日(木)ハートピア総会、議会運営委員会、手をつなぐ親の会総会、肢体不自由児者父母の会総会、子宮頸がん院内集会
- 30日(金)小村大臨時議会、大学連携ブルーベリリーグ
- 31日(土)生き物環境調査、スマートメーター内部署学習会
- 6月**
- 1日(日)ごみゼロフリマ、観光まちづくりシンポジウム
- 3日(火)本会議初日
- 4日(水)5日(金)一般質問
- 7日(土)男女共同参画講演会
- 9日(月)議会報告会の駅前チラシ配布
- 10日(火)総務委員会
- 11日(水)生活文教委員会
- 12日(木)厚生委員会、小平3・4・23号線道路説明会
- 13日(金)建設委員会傍聴、身体障害者協会懇親会、金曜サロン(タッピングタッチ)
- 14日(土)小平市議会市民と議会の意見交換会、ほたるの夕べ
- 16日(月)まちづくり検討特別委員会
- 17日(火)議会改革推進特別委員会、シルバー人材センター総会
- 18日(水)認知症サポーター養成講座
- 19日(木)幹事長会議
- 21日(土)住民投票シンポジウム
- 24日(火)月例フォーラム(新しい地域支援戦略)
- 25日(水)本会議最終日
- 26日(木)都市計画区域マスタープラン公聴会、3市共同資源化施設基本構想(案)意見交換会
- 28日(土)トークセッション「市民社会を強くする」
- 30日(月)集団的自衛権行使容認抗議デモ
- ☆掲載したのは活動の一部です。これ以外にもヒヤリングや調査、相談など3人の議員それぞれが活動しています。